

意見書

白波瀬佐和子

男女共同参画基本計画は、1999 年に施行された男女共同参画社会基本法に基づき、その基本的な考え方を提示する重要な位置づけにある。

第 6 次男女共同参画基本計画案（以降、第 6 次計画案）において、重要なポイントの一つは、KPI 指標をふくむ 130 ページにわたる計画内容を実行へと転換し、格差解消につながる効果としてつなげていくことにある。

特に、2030 年は国連によって提唱された持続可能な開発目標（SDGs）の達成期限であり、第 6 次計画案は次なる計画へとつなげる極めて重要な位置にある。激しく変化する国際情勢やデジタル化の進展等、多様で複層的なリスクに対応するためには、従来型の枠を超えなくてはならない。

そのためには、第 6 次男女共同参画基本計画を実行へと移す具体的政策議論が可及的速やかに進められることを強く望む。